

大阪府立布施工科高等学校 PTAだより

第86号

編集発行
大阪府立布施工科高等学校
PTA広報委員会
東大阪市宝持
三丁目七番五号
http://www.osaka-c
.ed.jp/fuse-t/



「会長になって」

PTA会長

宮前 好恵



今年度、会長をさせて頂くことになりました、宮前でございます。昨年度から、コロナウイルスの影響で生徒達の行事が削減・内容変更などの形



校長 森村 利和

令和3年度が始まりましたが、昨年度からのコロナ感染拡大に伴い、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置、再度の緊急事態宣言が発出され、日常の生活に制限が強いられています。学校生活も例年とは異なり、臨時休業や行事等の中止や延期を余儀なくされています。生徒諸君や保護者の方々においては、ご理解とご協力をお願いいたします。さて、東京五輪・パラリンピックが無観客開催とな

で行われています。今年度も五月予定の体育祭が中止となりました。せめて秋には感染拡大に配慮しながら生徒の学校生活を彩る行事を実現出来たらと先生方も考えている次第です。今尚、コロナ感染者が増加の報道が続く中、どのような形で実現するのは分かりませんが、少しでも生徒達

の思い出が作れる事を考えていますので、保護者の皆様には、ご理解とご協力をお願いします。私も初めて会長という大役をすることになり、何分、至らないところがあると思いますが、僅かでも生徒達、保護者の皆様のご希望、ご意見に耳を傾け、尽力して行きたいと思っております。

「視点の転換」

り、コロナ感染の封じ込めに走らなければなりません。しかし、就職・進学のスケジュールは淡々と進めなければならぬ状況です。エ

という成績でした。それまでスロバキア人のミランコイチと二人三脚で、メダルをめざしトレーニングを続けていました。そのミラン

科高校の最大の強みである進路決定を成就するため、3年生は将来を見据え、十分検討し進路選択をしてもらいたいと思います。1・2年生も、早いうちから自分事として捉え、視野を広げておいてください。五輪カヌースラローム代表 羽根田卓也選手は、決勝まで進みましたが10位

コーチから「辛い事厳しい事困難な事があっても、人生の醍醐味なんだ。」とポジティブに捉え発想を転換することを言われ続けたそうです。できないことを嘆くのではなく、できる事にやりがいを感じて没頭するところが大事で、状況が変わらなければ、自分が変わるべきだと理解したそうです。



教頭 佐藤 義勝

PTAの皆様方には、本校の教育活動にご理解・ご協力賜り、誠にありがとうございます。私が布施工科高等学校に赴任して感じたことは、挨拶ができて生徒達が多いことです。長引くコロナ禍の中、何かと不自由

生徒諸君も、コロナ禍で大変な状況ですが、そのような状況でもやれることに没頭し、様々な工夫をして課題をクリアしていくという「視点の転換」をしてもらいたいと思います。製造業・建設業・メンテナンス業などの工業界は、コロナ禍でも人々の生活を快適で安全となるよう、若手技術者を待ち望んでいます。本校で学び、ものづくりの世界をけん引する人材として成長してください。保護者の皆様、本校は、生徒諸君の成長をサポートするよう尽力してまいりますので、今後とも変わらぬご理解・ご支援を賜りますようお願いいたします。

な中にありましても、きちんと挨拶ができたり、しっかりとマスクの着用が守られていることは、素晴らしいことだと思います。先生方の生徒に對するサポート体制がきめ細かく、キャリア教育・職業教育が充実していることや、各ご家庭での手厚い指導による賜物だと思えます。高校生は、何かと多感な時期で、不安定なことも多いと思います。保護者の皆様におかれましては、お子様に対するサポートも大変な時期かと存じます。ご家庭で何かお困りのときは、本校の先生方に相談してみてください。解決のためのヒントが見つかるかもしれません。生徒の自己実現のサポートを家庭と学校が一体となって行っていきたいと考えています。今後とも本校のスローガン「人づくり・ものづくり・夢づくり」のために、より一層PTAの皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

進路指導部だより



進路指導主事
小池 清隆

本年度進路指導主事を担当します。建築設備系の小池です。よろしくお願ひいたします。

PTAの皆様方には本校の教育活動にご理解とご支援をいただき感謝いたします。

昨年からの新型コロナウイルス感染症の影響で、進路説明会など様々な行事の変更を余儀なくされて

います。今年度は、新規高卒採用の試験開始日は、今年度は新規高卒採用の就職試験の開始日は、9月16日従来通りの日程に戻っています。3年生は、進路決定の大事な時期に大変な状況ではあります。が、一つ一つを丁寧に、早く早めに物事を進めてもらいたいと思います。希望の進路実現を果たせるよう進路指導部もサポートしていきます。

2年生は、昨年インターシップを実施できませんでした。今年度は、前半組の7月は実施できましたが、8月は新型コロナウイルスの急速な感染拡大

を考慮し、実施を見送っております。今後も感染状況に注視しながら進路実現に向けた取り組みを行っていききたいと思います。最後になりましたが、保護者の皆様方には、向かい、教育活動へのご支援ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。



令和3年度学校行事予定
(状況により変更になる可能性があります)

実施日	行事
9/14	1年系選択説明会 ※10/1までオンライン配信
9/15	PTA 実行委員会
9/16	就職選考開始
10/9	PTA ミニ研修会
10/9-13	2学期中間考査
10/13	PTA 実行委員会
11/12	体育祭・PTA 実行委員会
11/19	体育祭予備日
12/2-7	2学期期末考査
12/8-24	短縮授業
12/24	2学期終業式・授業
1/6	3学期始業式・授業
1/19	PTA 実行委員会
1/20-28	課題研究展示会
1/24-28	3年学年末考査
1/29	PTA 社会見学会
2/10-17	1.2年学年末考査
3/5	卒業式
3/15	終業式
3/17	合格者説明会

令和3年度 P T A 実行委員一覧

会長	宮前 好恵	3 E 2
副会長	山本 英	3 E 2
副会長	河津 孝子	2 E 2
書記	北里 知子	3 A 2
会計	大住 恵	2 E 1
文化体育委員長	窪 淳子	3 A 2
文化体育副委員長	荷宮 光江	2 A 1
	翁坂 昌子	1-3
広報委員長	松原 美和	3 A 1
広報副委員長	森岡 愛子	2 M 1
	出口 麻子	1-2
	高橋 梨奈	1-6
3年委員長	成尾 雅子	3 A 2
3年副委員長	中越 俊琴	3 E 1
2年委員長	岡村 泰子	2 E 1
2年副委員長	木本 玲子	2 E 2
1年委員長	山本 紗衣	1-5
1年副委員長	花倉 要絵	1-6

10月14日 晴れ

人づくり
ものづくり
夢づくり

ご協力お願いします

☆機械系

機械系系長

近藤 智也

身近なものから宇宙まで工業技術は欠かせません。本校機械系では機械産業における「モノづくり」の基礎的な知識や技術を学び幅広い分野で活躍できる技術者の育成を行っております。特に機械系では用途に合わせた工作機械での加工(切削加工・溶接・鋳造など)からコンピュータを使用した製図(CAD)や3Dプリンタを使用しているの模型製作、機械制御などを実習に取り入れることで、実践的な力を日々、磨いております。



現3年生に機械系を選んだ理由を聞くと、「先輩の話聞いて」や「担任の先生の薦めで」「車や機械に興味があったので」「一年の成績的に機械しか選べなかった」などが、様々ですが、選んだ今は、「ものづくりにおいての色々な内容が知れて、体験できて良かった」「クラスの雰囲気良く過ごしやすい」「授業が難しく、特に製図が・・・」「4、5時間実習は辛かった」「色々体験したことで自分の得意な事がわかった」といったコメントをもらいました。卒業すると社会人、その時、自信をもって先へ進んでいける力を身につけさせたいと思いい指導しております。



各系紹介

☆建築設備系

建築設備系系長

渡邊 千佳



建築設備系とは、人の生活に不可欠な衣・食・住のうち「住」について勉強しています。建築システム専科では、建築物を建てるために必要な学習をし、将来は「建築技術者」として活躍することをめざしています。実習の時間を通して、鉄筋の施工実習や測量実習、木工実習などを通して、実際の建築物に関する技術を、座学では構造や施工、構造計算、計画を通して、知識を身に付けていきます。製図の授業では、ドラフターで手描きや、建築CADを使

って、作図方法を学びます。設備システム専科では、生活に必要な設備について学び、「設備技術者」として活躍することをめざします。給水・排水・電気について学び、配管・エアコンの取り付け、排水管の流体実験、冷暖房の実験、照明の実験を行い、設備についての知識や技能を学びます。大阪府下の工科高校で、設備に関する専科があるのは本校だけであり、近畿では2校しかありません。建築設備系では、資格取得にも力を入れており、国家資格である技能検定にもたくさんの生徒が挑戦しています。特に、配管技能検定には、昨年度100



名前の生徒が受験しました。1年生から受験することができると、本年度もたくさんの生徒が受験して欲しいと思っています。配管技能検定2級を合格した生徒から、技能五輪の出場ができ、本校の生徒が大阪府代表として9年連続出場します。他にも、建築施工管理技士・管工事施工管理技士第2種電気工事士・建築CAD検定・左官技能士・鉄筋技能士などの資格取得をしています。

☆電気系

電気系長

川崎 哲也

昨年からのコロナ感染症の広がる中で、工業高校特有の実習機器を用いた学びの大切さを改めて感じます。同時に、ICT機器を用いて工夫した実習等を実施する準備を進めています。

現状からの変化と、既存のベースの学習を組み合わせて、社会で活躍できる人財育成を電気系教員全員で取り組んでいきます。



過去最高更新

令和3年の前期のジュニアマイスター顕彰(資格に点数が配点され、合計得点で表彰される。全国規模の表彰)で、ゴールド2名・シルバー9・ブロンズ7名と過去最高を記録しました。コロナ感染症で資格試験が中止になるなど、多くのハンデがあるにも関わらず、資格取得に意欲を持ち取り組んでくれた成果だと思っています。



資格取得の意義

資格としては、電気工事士・工事担任者・電気施工管理・技能士を中心とした国家資格(検定)を取得しております。受験できる資格数は工科トップレベルです。

課外活動として、資格試験を経験していく生徒は、学業成績も伸び、働くことにも意欲や目的意識を持ちます。

資格経験の中で、生徒さんが感じる一番の部分は、試験本番の緊張感と、一般の社会人と共に受験することです。周りの方が必死に資格を取得する姿や、時間とプレッシャーの中で作業する(解答する)経験

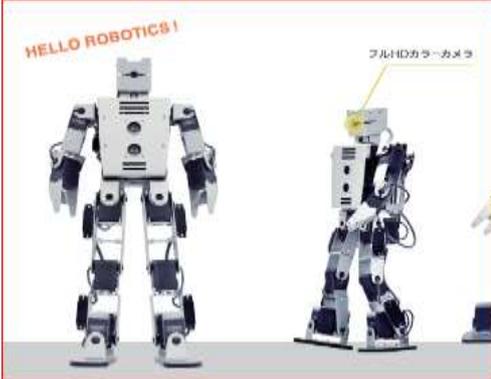


令和3年配備予定機材

は学生時代の大きな財産になります。資格マニアになってほしいのではありません。学業・クラブ・資格取得と工業高校でのチャンスをものにして、計画性を持って成長に繋げてほしいと思います。

自動制御の学習において、工場設備に用いるコンベア・リンク機構などがシミュレーションできる機器を導入予定。

二足歩行ロボットを地用して、プログラム学習(Python)ができる機材。クラウド上での学習も可能、高度な内容になれば、人工知能まで学習できる。



大阪大会優勝



また、令和3年度電気工事コンクールで、大阪予選1位2位を独占し、近畿大会に出場しました。練習時間の制約がある中、放課後の時間を大切に使い、ひた向きに技能を伸ばす姿は、3年生として立派に見えました。



新2年生の系の選択

電気系は、電気技術専科と電子情報通信専科があります。それぞれ特徴あるカリキュラムになっています。キャリアの手引きをよく読み、将来の仕事、学びたいことなどをよく考え、選択してください。

電気系
アドミッションポリシー

- ① 授業の学習を一生懸命取り組む生徒
- ② 実習に意欲的に取り組む生徒
- ③ 資格取得に積極的に取り組む生徒
- ④ 行事に一所懸命に取り組む生徒

電気は目に見えないものを記号に置き換え、計算して予測していく学問です。最初は、難しく感じるとはありますが、学習を進めるともっと難しくなるので、最初が簡単感じます。繰り返し学ぶことで、習得に繋がっていきます。

実習では、週に2回レポート提出があります。全実習レポート提出が必須なので、家での学習も必要になります。提出物が苦手な



生徒は、今から意識を変えて学校生活を送ってください。資格取得は、一般社会で取得しようとしたら、高額の講習金額になります。本校では、受験料と少しの材料費で受験できます。チャンネル逃さないように、情報を掴み、チャンネルをものにしてください。

なんとなく得られるものに価値はついてきません正しい努力と情熱をかけて取り組んだものに光が差します。

電気系の魅力を感じてくださる生徒・保護者と、共に学び・成長していきたいと思えます。